



Crosswork Data Gateways の設定

- [Crosswork Data Gateway のインストール](#) (1 ページ)
- [Crosswork Data Gateway の情報の追加](#) (2 ページ)
- [Data Gateway の正常性の表示](#) (3 ページ)
- [トラフィックデバイスと Crosswork Data Gateway とのリンク](#) (3 ページ)
- [トラフィックデバイスと Crosswork Data Gateway とのリンクの削除](#) (4 ページ)
- [トラフィック分析用の Crosswork Data Gateway およびデバイス接続のトラブルシューティング](#) (4 ページ)
- [Crosswork Data Gateway へのデバイスのリンク](#) (6 ページ)
- [Crosswork Data Gateway へのデバイスリンクの削除](#) (6 ページ)
- [Crosswork Data Gateways の非アクティブ化](#) (7 ページ)
- [Crosswork Data Gateways の削除](#) (7 ページ)

Crosswork Data Gateway のインストール



(注) Crosswork Data Gateway は Crosswork Cloud Traffic Analysis と Crosswork Cloud Trust Insights にのみ必要です。Crosswork Cloud Network Insights には必要ありません。

Crosswork Cloud はそのデータに依存しているため、最初に Crosswork Data Gateway をインストールする必要があります。Crosswork Cloud でサポートされている Crosswork Data Gateway のバージョンについては、[Cisco Crosswork Data Gateway Release Notes](#) を参照してください。

ステップ 1 [Cisco Crosswork Data Gateway Installation and Configuration Guide for Cloud Applications](#) の説明に従って Crosswork Data Gateway をインストールします。

ステップ 2 [Cisco Crosswork Data Gateway Installation and Configuration Guide for Cloud Applications](#) の説明に従って Crosswork Data Gateway から [登録パッケージの取得とエクスポート](#) します。

Crosswork Data Gateway の登録データを取得したら、Crosswork Cloud にログインできます。



Crosswork Data Gateway の情報の追加

クラウドデータゲートウェイの展開プロセスの一環として、新しい仮想マシンを展開した後に一意の登録ファイルが作成されます。json 登録ファイルには、Crosswork Data Gateway を Crosswork Cloud に登録する際に使用される一意のデジタル証明書が含まれています。Crosswork Data Gateway をインストールして登録データをダウンロードしたら、次に説明するようにその情報を追加する必要があります。



(注) Crosswork Data Gateway の出力トラフィックでファイアウォールを使用する場合は、ファイアウォールの構成で `cdg.crosswork.cisco.com` および `crosswork.cisco.com` が許可されていることを確認します。

ステップ 1 メインウィンドウから、次のいずれかを実行します。

- Crosswork Cloud Traffic Analysisについては、 > [設定 (Configure)] > [データゲートウェイ (Data Gateways)] の順に選択してから、[データゲートウェイの追加 (Add Data Gateway)] をクリックします。
- Crosswork Cloud Trust Insightsについては、 > [設定 (Configure)] > [データゲートウェイ (Data Gateways)] の順に選択してから、[データゲートウェイの追加 (Add Data Gateway)] をクリックします。

ステップ 2 [登録 (Registration File)] をクリックして、Crosswork Data Gateway からダウンロードした登録データファイルをアップロードし、.json ファイルの場所に移動してから、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 3 Crosswork Data Gateway の名前を入力します。

ステップ 4 [アプリケーション (Application)] フィールドで、この Crosswork Data Gateway インスタンスを使用している該当 Crosswork Cloud アプリケーションが正しいものかどうか確認します。各 Crosswork Data Gateway は、1 つの Crosswork Cloud アプリケーションにのみ適用できます。

ステップ 5 残りの必須フィールドに入力してから、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 6 (オプション) タグ名を入力し、[新しい項目 (New Item)] をクリックします (または既存のタグ名から選択します)。これにより、同じタグを持つ Crosswork Data Gateway をグループ化できます。その後、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 7 複数の NIC があり、そのうちの 1 つをサウスバウンドトラフィックと通信するようにする場合は、このウィンドウで設定します。

ステップ 8 入力した Crosswork Data Gateway の情報を確認してから、[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 9 [承認 (Accept)] をクリックして、セキュリティ証明書を受け入れます。

Crosswork Data Gateway の追加に成功したことを示すメッセージが表示されます。

ステップ 10 数分後、Crosswork Data Gatewayが正常に接続されていることを確認します。[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックし、続けて Crosswork Data Gateway の名前をクリックして、追加した Crosswork Data Gateway について次の値を確認します。

- [接続 (Connectivity)] : [セッションアップ (Session Up)]
- 管理状態 : 有効
- コンテナイメージ : 一致

変更を表示するには、更新が必要な場合があります。

Data Gateway の正常性の表示

Crosswork Data Gateway インスタンスの正常性をすばやく表示できます。メインウィンドウの [設定 (Configure)] で、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。正常性を表示する Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

Crosswork Data Gateway の収集情報と正常性情報が表示されます。接続ステータス、アプリケーションがダウンロードされた日時、および最後のデータ収集が行われた日時を表示できます。

[コンテナイメージ (Container Image)] フィールドは、次の値を使用して Docker イメージのステータスを示します。

- [一致 (Matched)] : Data Gateway は公開されている最新の Docker イメージを実行しています。
- [不一致 (Mismatched)] : Data Gateway は古い Docker イメージを実行しています。
- [なし (Missing)] : Docker イメージがダウンロードされていません。

[コンテナイメージ (Container Image)] フィールドの上にマウスを合わせて、Docker イメージタグを表示することもできます。

トラフィックデバイスと Crosswork Data Gateway とのリンク

追加した各デバイスのドシエを収集する Crosswork Data Gateway インスタンスを選択できます。このタスクを実行する前に、Crosswork Data Gateway を追加する必要があります。参照先

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 デバイスにリンクする Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

ステップ 3 [リンクされたトラフィックデバイス (Linked Traffic Devices)] タブをクリックします。

以前に Crosswork Data Gateway にリンクされていたデバイスのリストが表示されます。

ステップ 4 Crosswork Data Gateway にリンクするデバイスを選択し、[トラフィックデバイスのリンク (Link Traffic Devices)] をクリックします。

デバイスが Crosswork Data Gateway にリンクされると、自動的に収集がスケジュールされます。収集のステータスと次の収集間隔を確認するには、[データゲートウェイ (Data Gateway)] ページの [概要 (Overview)] タブを確認します。

トラフィックデバイスと Crosswork Data Gateway とのリンクの削除

以前に設定した Crosswork Data Gateway へのデバイスリンクを削除できます。

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 デバイスへのリンクを解除する Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

ステップ 3 [リンクされたトラフィックデバイス (Linked Traffic Devices)] タブをクリックします。

ステップ 4 リンクを解除する 1 つ以上のデバイスのチェックボックスをオンにし、[リンク解除 (Unlink)] をクリックします。

Crosswork Data Gateway では、リンクを解除したデバイスのドシエは収集されなくなります。

トラフィック分析用の Crosswork Data Gateway およびデバイス接続のトラブルシューティング

次の手順では、Crosswork Data Gateway と Crosswork Cloud Traffic Analysis デバイス間の接続の問題を解決する方法について説明します。

ステップ 1 メインウィンドウで、[デバイス (Devices)] をクリックしてから、Crosswork Data Gateway への接続を表示するデバイスをクリックします。

ステップ 2 [ステータス (Status)] タブをクリックします。

ステップ 3 Crosswork Data Gateway とデバイス間のすべての接続がエラーを示す赤色で、ファイアウォールがある場合は、`cdg.crosswork.cisco.com` および `crosswork.cisco.com` を許可するように設定されていることを確認します。

Crosswork Data Gateway とデバイス間の接続をテストして修正します。

ステップ 4 Crosswork Data Gateway とデバイス間の [SNMP] の矢印が接続の正常性を示す緑色であることを確認します。

[SNMP] の矢印が赤色の場合、Crosswork Data Gateway はデバイスに接続できません。次のエラーを修正します。

- ルータの SNMP 構成が正しいことを確認します。詳細については、[SNMP の構成例](#) を参照してください。
- Crosswork Cloud Traffic Analysis で入力したクレデンシャルが、ルータに設定されているクレデンシャルと一致していることを確認します。[SNMP] リンクの上にカーソルを合わせ、青色のハイパーリンクをクリックして、そのデバイスのクレデンシャルに移動します。
- SNMP ビューを作成した場合は、正しい SNMP のオブジェクト識別子 (OID) を指定したことを確認します。[トラフィック分析で使用される SNMP の識別子](#) を参照してください。
- 入力した SNMP の IP アドレスが正しいことを確認してください。[編集 (Edit)] をクリックし、Crosswork Cloud Traffic Analysis セクションまでスクロールして [SNMP アドレス (SNMP Address)] フィールドを確認します。

ステップ 5 Crosswork Data Gateway とデバイス間の [BGP] の矢印が、接続の正常性を示す緑色であることを確認します。

[BGP] の矢印が赤色の場合は、次のエラーを修正します。

- BGP ピアの IP アドレスが正しいことを確認します。[編集 (Edit)] をクリックし、Crosswork Cloud Traffic Analysis セクションまでスクロールして、[BGP ルータ ID の IP アドレス (BGP Router ID IP Address)] フィールドを確認します。
- BGP のクレデンシャルを使用している場合は、Crosswork Cloud Traffic Analysis で入力したクレデンシャルがルータで設定されているクレデンシャルと一致していることを確認します。
- デバイス構成に Crosswork Data Gateway の IP アドレスと Crosswork Data Gateway の ASN (デフォルトの ASN は 65000) が含まれていること、およびそれらがネイバーであることを確認します。
- Crosswork Data Gateway とデバイス間の BGP セッションが外部 BGP (e-BGP) セッションであることを確認します。

(注) Crosswork Data Gateway とデバイス間の [SSH] 接続は、Crosswork Cloud Traffic Analysis には必要ありません。

ステップ 6 Crosswork Data Gateway とデバイス間の [トラフィックデータ (Traffic Data)] の矢印が、接続の正常性を示す緑色であることを確認します。

Crosswork Data Gateway とデバイス間の [トラフィックデータ (Traffic Data)] の矢印が赤色の場合は、ルータの NetFlow 構成、特にポート番号 (255) と NetFlow データのエクスポート元の IP アドレスを確認します。[NetFlow 送信元アドレス (NetFlow Source Address)] フィールドで指定した IP アドレスが、NetFlow レコードのエクスポート元の IP アドレスと一致していることを確認します。

ステップ 7 すべての接続が緑色で、トラフィックデータが表示されない場合は、内部インターフェイスと外部インターフェイスが正しく設定されていることを確認します。[Crosswork Traffic Analysis 用の外部インターフェイスの指定](#)を参照してください。

Crosswork Data Gateway へのデバイスのリンク

Crosswork Cloud Trust Insights または Crosswork Cloud Traffic Analysis に追加した各デバイスのドシエを収集する Crosswork Data Gateway インスタンスを選択できます。このタスクを実行する前に、Crosswork Data Gateway を追加する必要があります。[Crosswork Data Gateway の情報の追加](#)を参照してください。

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 デバイスにリンクする Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

ステップ 3 [リンクされた信頼デバイス (Linked Trust Devices)] または [リンクされたトラフィックデバイス (Linked Traffic Devices)] タブをクリックします。

以前に Crosswork Data Gateway にリンクされていたデバイスのリストが表示されます。

ステップ 4 [信頼デバイスのリンク (Link Trust Devices)] または [トラフィックデバイスのリンク (Link Traffic Devices)] をクリックします。

ステップ 5 Crosswork Data Gateway にリンクするデバイスを選択し、[選択したリンク (Link Selected)] をクリックします。

デバイスが Crosswork Data Gateway にリンクされると、自動的に収集がスケジュールされます。収集のステータスと次回の収集間隔を確認するには、[データゲートウェイ (Data Gateway)] ページの [概要 (Overview)] タブを確認します。

Crosswork Data Gateway へのデバイスリンクの削除

以前に設定した Crosswork Data Gateway へのデバイスリンクを削除できます。

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 デバイスへのリンクを解除する Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

ステップ 3 [リンクされた信頼デバイス (Linked Trust Devices)] または [リンクされたトラフィックデバイス (Linked Traffic Devices)] タブをクリックします。

ステップ 4 リンクを解除するデバイスのボックスをオンにしてから、[リンク解除 (Unlink)] をクリックします。

Crosswork Data Gateway では、リンクを解除したデバイスのドシエは収集されなくなります。

Crosswork Data Gateways の非アクティブ化

Crosswork Data Gateway を非アクティブ化することができます。これにより、Crosswork Data Gateway の情報は保持されますが、Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud にネットワークデータを送信することはできなくなります。

Crosswork Data Gateway を削除して、そのデータとともに完全に削除するには、[Crosswork Data Gateways の削除 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 非アクティブ化する Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックしてから、[非アクティブ化 (Deactivate)] をクリックします。

Crosswork Data Gateways の削除

Crosswork Data Gateway を削除することで、完全に削除できます。また、Crosswork Data Gateway を非アクティブ化することもできます。これにより、Crosswork Data Gateway の情報は保持されますが、Crosswork Data Gateway はネットワークデータを Crosswork Cloud に送信できなくなります。

ステップ 1 メインウィンドウで、[データゲートウェイ (Data Gateways)] をクリックします。

ステップ 2 削除する Crosswork Data Gateway インスタンスをクリックします。

ステップ 3 [削除 (Remove)] をクリックします。Crosswork Data Gateway は削除されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。